

◎第2回分科会意見等一覧表（総合政策分科会）

番号	区分	ページ	章番号	施策番号	施策名など	意見、修正内容	趣旨	対応	6.30原案	修正案	担当課	意見提出者
1	意見	4			2 計画策定の背景	(2)わがまちの姿（佐賀市の特性） ③沿革 ・タイトルを「歴史的特性」へ変更した方がよい。	①地理的特性、②自然的特性と表記を揃える。	ご意見のとおり変更する。	③沿革	③沿革 <b>歴史的特性</b>	企画政策課	五十嵐勉
2	意見	5			2 計画策定の背景	(2)わがまちの姿（佐賀市の特性） ③沿革 ・前回修正案を右記の視点で一部修正	・「～と仰せられ」は大仰なので、簡潔に改めてはどうか。 ・幕末期には、教育が充実していたことも特徴のひとつなので、書き加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、全体的に記載内容を修正する。なお、「さが」の地名の由来には諸説あるため、注釈を付記する。	【第2回分科会時点の案】 ③歴史・沿革 「さが」が歴史に登場したのは、「肥前国風土記」によれば、日本武尊が九州御巡幸の時、この地に楠の大樹が繁り栄えているのをみて「栄の国」と仰せられ、「佐嘉郡（さかのこおり）」と呼ばれたとあり、佐賀という地名となりました。江戸時代には鍋島氏が佐賀藩を治め、幕末には製鉄、加工技術、大砲、蒸気機関、電信などの研究や開発、生産を行い、最も近代化された藩の一つとなり、明治維新时期に日本の近代化を推進した多くの人材を輩出しました。	③歴史的特性 「さが」が歴史に登場したのは、「肥前国風土記」によれば、 <del>に遡り</del> 、日本武尊が九州御巡幸の時、この地に楠の大樹が繁り栄えているのをみて「栄の国」と仰せられ、 <del>と言われ、後に改めて</del> 「佐嘉郡（さかのこおり）」と呼ばれたとあり、 <del>記されています。その後、明治時代に現在の「佐賀」という地名となりました。</del> 江戸時代には鍋島氏が佐賀藩を治め、幕末には、製鉄、加工技術、大砲、蒸気機関、電信などの研究や開発、生産を行い、最も近代化された藩の一つとなり、 <del>母なるとともに、教育の充実によって、</del> 明治維新时期に日本の近代化を推進した多くの人材を輩出しました。 <b>※地名の由来には諸説がある。</b>	企画政策課	田中善郎
3	意見	5			2 計画策定の背景	(2)わがまちの姿（佐賀市の特性） ③沿革 ・「特例市」の用語解説を加える。		用語解説を加える。	—	●特例市 人口20万人以上の市で、地方自治法に基づいて指定を受けた市。都市計画、環境規制など中核市なみの権限が都道府県より移譲される。	企画政策課	五十嵐勉
4	意見	14			(3)基本政策	②災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち ・「防災教育」の視点が抜けているので、どこかに入れる必要がある。	東日本大震災以降、全国的にも防災教育が行われている。	ご意見のとおり、防災教育等の視点を加える。	特に地震や豪雨等の自然災害に対しては、防災・危機管理体制の充実や地域における防災力の向上を図るとともに、大雨に伴う平野部の洪水・内水氾濫や山間部の土砂災害への治水・治山対策に重点的に取り組みます。	特に地震や豪雨等の自然災害に対しては、防災・危機管理体制の充実や <b>防災教育・啓発等を通じた</b> 地域における防災力の向上を図るとともに、大雨に伴う平野部の洪水・内水氾濫や山間部の土砂災害への治水・治山対策に重点的に取り組みます。	企画政策課	五十嵐勉

番号	区分	ページ	章 番号	施策 番号	施策名など	意見、修正内容	趣旨	対応	6.30原案	修正案	担当課	意見提出者
5	意見	15			(3)基本政策	④恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち ・「生物多様性」の視点が抜けているので、どこかに入れる必要がある。	環境問題は、廃棄物と生物多様性が重要な柱となっている。ラムサール条約の登録を目指すことも生物多様性の保全の一環ではないか。	ご意見のとおり、生物多様性の視点を加える。	また、水とみどりの調和をはじめ、良好な街並み形成や田園、クリーク等の自然景観の保全等に取り組むとともに、身近な環境問題である大気汚染や騒音・振動等の対策やペット問題、空き家の適正管理などの生活環境の改善に向けた取組を充実します。	また、水とみどりの調和をはじめ、 <b>生物多様性の確保</b> 、良好な街並み形成や田園、クリーク等の自然景観の保全等に取り組むとともに、身近な環境問題である大気汚染や騒音・振動等の対策やペット問題、空き家の適正管理などの生活環境の改善に向けた取組を充実します。	企画政策課	五十嵐勉
6	意見	15			(3)基本政策	⑤ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち ・文化を育むと言いながら、「文化の振興」についての表現が弱いと感じる。	—	ご意見を踏まえ、文化の振興に関する記載を改める。	あわせて、市民誰もが生涯にわたって様々な知識や教養を身に付けることができる環境や、心身の健康づくりに向けてスポーツに親しむことができる環境、これまで培ってきた歴史・文化の適切な保全・活用や市民文化活動の環境整備に取り組めます。 また、・・・	あわせて、 <b>また</b> 、市民誰もが生涯にわたって様々な知識や教養を身に付けることができる環境や、心身の健康づくりに向けてスポーツに親しむことができる環境を <b>整備します</b> 。 <b>あわせて</b> 、これまで培ってきた歴史・文化の適切な保全・活用や <b>芸術</b> の環境整備 <b>創造</b> につながるよう <b>取組</b> を進めます。 <del>また</del> 、 <b>さらに</b> 、・・・	企画政策課	五十嵐勉
7	意見	15			(3)基本政策	⑥互いに尊重しあい、共に創るふれあいのあるまち ・「～しあい」は、他は「～し合い」と漢字表記であるため、統一を。	—	ご意見のとおり変更する。	⑥互いに尊重しあい、共に創るふれあいのあるまち	⑥互いに尊重し <b>あ</b> 合い、共に創るふれあいのあるまち	企画政策課	徳永浩
8	意見	17			(4)土地利用	①土地利用の基本方針 ●・・・拠点集約連携型都市構造・・・ ・「拠点集約連携型都市構造」は、漢字が11文字も続き、意味もよく分からないため、表現を改めること。	—	ご意見を踏まえ、分かりやすく表現を改める。	●人口減少、少子高齢社会に対応した拠点集約連携型都市構造の実現に向け、今後も引き続き、土地需要の量的調整や土地利用の質的向上を図り、都市機能を適正に配置したコンパクトな都市形成を推進します。	●人口減少、少子高齢社会に対応した <b>拠点集約連携型各拠点の役割に応じて機能分担がなされ、中心拠点及び地域拠点が有機的に相互連携した都市構造</b> の実現に向けて <b>するため</b> 、今後も引き続き、土地需要の量的調整や土地利用の質的向上を図り、都市機能を適正に配置したコンパクトな都市形成を推進します。	企画政策課	五十嵐勉
9	意見	19			(4)土地利用	③将来都市構造 ・「将来都市構造」は、「将来の」や「将来における」が適切ではないか。	—	ご意見のとおり変更する。	③将来都市構造	③ <b>将来の</b> 都市構造	企画政策課	五十嵐勉
10	意見	—			基本計画全般	■関連する計画 ・施策に係る「～計画」を明示してあるが、時代に合った課題に対応しているか分かるように、「いつ策定された」、「何力年」の計画と記載した方が親切である。	—	ご意見を踏まえ、計画期間を追記する。	—	(例) ■関連する計画 農業振興地域整備計画 (H21～H30)	企画政策課	五十嵐勉

番号	区分	ページ	章 番号	施策 番号	施策名など	意見、修正内容	趣旨	対応	6.30原案	修正案	担当課	意見提出者
11	意見	96	6	1	参加と協働によるまちづくり	<p>■取組方針 6-1-4多文化共生の推進</p> <p>・姉妹都市交流等のみが、多文化への理解を深める場であるような記載内容となっていないか。まちづくりにおいては、定住外国人との共生が多文化共生の一番のポイントである。本市は、留学生も多く、バレンタインの時にも多く来られる。</p>	—	ご意見を踏まえ、背景に文章を加えるなど、全体的に記載内容を修正する。	<p>【背景】</p> <p>—</p> <p>【課題】 まちづくりには国際的な視点も必要であり、外国の都市、団体等との交流や連携を図ることにより、市民の国際的な視野を広げ、文化の多様性への理解を深めることが一層求められています。</p> <p>■取組方針 6-1-4多文化共生の推進 姉妹都市交流等を通して、文化の多様性についての市民の理解を深めるとともに、関連団体との連携を図りながら、外国人と市民との交流促進に向けた活動を推進します。</p>	<p>【背景】 (4点目に追加) 旅行や業務での市民の海外渡航の機会が増大する一方、外国人観光客や留学生などの在住外国人との交流機会も増加しており、日常生活の中で外国人との円滑なコミュニケーションを図るための国際理解が一層必要となっています。</p> <p>【課題】 まちづくりには国際的な視点も必要であり、外国の都市、団体等との交流や連携市民の異文化理解の推進を図ることにより、市民の国際的な視野を広げ、文化の多様性への理解を深めることが一層求められています。</p> <p>■取組方針 6-1-4多文化共生の推進 姉妹都市交流や国際理解講座等を通して、文化の多様性についての市民の理解を深めるとともに、関連団体との連携を図りながら、外国人と市民との交流促進に向けた活動を推進します。</p>	協働推進課	五十嵐勉
12	意見	98	6	2	情報共有の推進	<p>・施策の中で、情報公開の記載がない。情報が共有されるためには、公開されなければならないので、情報発信だけではなく、積極的な情報公開という言葉が出てこなければならないのではないかと。</p>	—	ご意見を踏まえ、全体的に情報公開に関する記載を加える。	<p>■背景と課題 【背景】</p> <p>—</p> <p>■取組方針 6-2-3適切な情報管理の推進 公文書管理など適切な情報管理を行うとともに、市民の個人情報に適切に管理します。</p>	<p>■背景と課題 【背景】 (3点目に追加) ・本市では、情報公開制度の総合的推進を通じて公正で開かれた市政の推進を図るとともに、個人情報の適正な管理に努めています。</p> <p>■取組方針 6-2-3適切な情報管理の推進 公文書管理など適切な情報管理を行うとともに、市民の個人情報に適切に管理します。情報の公開と個人情報の適正管理を推進します。</p>	秘書課	五十嵐勉
13	意見	99	6	2	6-2情報共有の推進	<p>■取組方針 6-2-1広報の充実</p> <p>・SNSを活用することを追記する場合には、「SNS」の用語解説も加える。</p>	—	用語解説を加える。	—	<p>●SNS Social Networking Serviceの略。「人同士のつながり」を電子化するサービスのこと。ツイッターやフェイスブックなど。</p>	企画政策課	五十嵐勉

番号	区分	ページ	章 番号	施策 番号	施策名など	意見、修正内容	趣旨	対応	6.30原案	修正案	担当課	意見提出者
14	意見	29	1	全般	—	<p>第1章において、観光に関する施策が1番目に配置されている理由を整理していただきたい。</p> <p>⇒経済産業分科会で検討</p>	<p>産業別に、第1次、第2次、…と並ぶのが普通ではないか。</p>	<p>【経済産業分科会での整理結果】 現行案のとおりとする。</p>		<p>【経済産業分科会での整理内容】 観光施策については、第1次総合計画においても施策順の1番目に配置されているが、熱気球世界選手権の誘致など現在も特に重点的に取り組んでいる施策であること、今回行われた市民アンケートにおいて、「佐賀市がさらに取り組むべきところ」として「観光の賑わいや活気に欠ける」という回答が最多であり市民の関心も高いことなどから、諮問案では1番目に位置付けられたものであり、適当と言える。</p> <p>なお、商工業と農林水産業については、産業ごとの取組方針をより明確化するため、第1次総合計画における「農林水産業」を「農業」・「林業」・「水産業」の3施策に細分化するとともに、第一次・第二次・第三次産業の就業人口等を踏まえて、従来どおり商工業→農・林・水産業の順に配置することとし、商業との関連が深い中心市街地の施策を商工業の次に配置されていることを確認した。</p>	企画政策課	五十嵐勉